

## 質問内容・要望事項一覧

項目	ページ	番号	事業名	質問内容 要望事項	担当課	回答
1	83	40	多様な主体による生活支援の推進【新規】	ファミリーサポートセンターの活動件数が27年度は6,670件だったのが、28年度は4,739件と少なくなっている理由について	子育て支援課	他のサービスの利用等により、継続的に反復して利用を希望するヘビーユーザー会員が減少し、緊急や単発での利用を希望する会員が増加したことが大きな要因であると考えている。 なお、年々会員数は増加しているニーズの高い事業ではあるが、サービスの提供をする提供会員に対し、サービスを利用する依頼会員の登録数が3倍程度となっているため、今後さらなるサービスの充実と提供会員の登録数の増を図っていきたい。
2	81	28	こころの健康を守る取組の推進【新規】	普及啓発の効果はどのくらいあったか(効果という表現が適切かどうかは別して)	健康推進課	相談件数が横ばいの中で、課で受けているこころの相談の割合が12.2%増加した(H27は健康相談全体の52.4%、H28は64.6%)。「ホームページを見た」という相談もあり、リーフレットやHPIによる普及啓発の効果が出ていると考えられる。
3	21 21	55 56	地域子育て支援事業【新規】 子育てひろば事業【新規】	子育て支援に関する情報をどのような形で必要としている方々に情報提供しているか。 (紙媒体なのか電子媒体なのか)	子育て支援課	番号55「地域子育て支援事業【新規】」は、基幹保育所2か所に「はぐ」という名称にて、地域の身近に子育ての相談ができるような場所を開設している。番号56「子育てひろば事業【新規】」は子ども家庭支援センター「たっち」「しらとり」、地域子育て支援センター「はぐきたやま」「はぐさんぼんぎ」、商店街の空き店舗を利用した「ベビーゆうゆう」のほか、文化センターや保育所・保育園、学童クラブなど市内の様々な施設を利用して、「までいひろば」「ポップコーン」や「スキップ」などいろいろな名称で定期的に行われている。 そうした場所では、紙媒体にて各月のスケジュール等の配布をし、情報提供をしている。また「子育てのたまたま箱」という子育て情報紙や「Fu-CHU子育てサイトふわっと」という子育て関連の情報がまとまったサイトやアプリがあり、いろいろな事業の紹介や周知をしており、興味ある方はそれを見て参加していただいている。 (子育て支援課 補足あり)
4	77	9	避難行動要支援者支援体制の充実	聴覚障害者はたくさんの情報が入ってくると、情報を整理できず、よくわからないという面がある。例えば避難訓練でも手話通訳や、説明の紙がないと積極的に参加することができない。その辺りも考えて対応していただけたらありがたいと思う。	防災危機管理課	関係課等と参加方法などについて研究する。
5	81	30	特定健康検査・特定保健指導【新規】	受診月が7、8、9の3月だが、7月は梅雨時期、8月は暑さやお盆で休みの期間が多く、9月になると病院は混んでいる。行くほうも自分の体調整えて、雨や暑い日を避け天気を選んでいく。受診月数を増やすことはできないか。	保険年金課	特定健康診査後の特定保健指導の実施や10月以降はインフルエンザ予防接種の時期と重なり医療機関がたいへん混雑することなどから現在の期間となっている。国民健康保険の被保険者の受診機会の拡充や受診率の向上は重要であると考えているので、特定健康診査の受診期間の延長については、委託先の府中市医師会と協議していく。
6	99	95	コミュニティバスの運行	府中駅前のちゅうバスの停留所がものすごく不便。これは京王電鉄との関係もあると思うが、東側から杖をついた高齢者がちゅうバスに乗るために駅の端から端まで歩くか、伊勢丹側に回って歩道を渡ってちゅうバスの停留所に行くので大変。 また、停留所も1か所に3メートル弱のところになり降り場が全部ある。この間も混んでいる時間帯に列の並び方でちょっといさかいがあった。停留所に関して今後もあの位置のままなのかお聞きしたい。	地域安全対策課	府中駅前のちゅうバスの停留所は11月6日に交通島から西側歩道へ移動した。本市では引き続きちゅうバスを利用される皆様が、安全で安心してご利用いただけるよう旅客サービスの向上に努めていくのでご理解願いたい。